

軽米町商工会
令和7年度経営発達支援事業 実施報告

＜評価基準＞ A: 目標を達成することができた(100%以上)
B: 目標を概ね達成することができた(80%～99%)
C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30%～79%)
D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

I、経営発達支援事業の内容

事業区分	令和7年度目標値	実績報告	未実施	事務局評価	委員会評価	事業項目	事業内容（実績）	事業内容（今後の動き）	事業内容（当初計画）
1. 地域の経済動向調査に関すること	1回	1回	-	A	A	①地域の経済動向分析	巡回指導または事業計画策定の際、参考資料とする（公表済み）	RESAS（地域経済分析システム）を活用し、地域の経済動向分析をホームページで公表（更新）する	左記同様
	1回	1回	-	A	A	②景気動向分析	令和7年4月～6月公表済み 令和7年7月～9月公表済み 令和7年10月～12月公表済み	令和8年1月～令和8年3月報告書は資料提供後に公表	景気動向の詳細な実態を把握するため、中小企業景況調査を分析し、ホームページで公表する
2. 需要動向調査に関すること	5者	5者	-	A	A	①物販及び物産展等における消費者ニーズ調査対象事業者数	令和7年7月18日（金）～21日（祝・月） かるまいフェアにおける消費者ニーズ調査	食フェスタ in かるまいにおける消費者ニーズ調査／R7.10.19（土）	左記同様
	2者	2者	-	A	A	②地域密着型事業者の消費者ニーズ調査対象事業者数	-		実店舗等における消費者ニーズ調査（0JT対象職員と経営指導員で対応予定）
3. 経営状況の分析に関すること	40者	56者	-	A	A	①経営状況・事業者が抱える課題等に関する調査を起点とした経営分析	<ul style="list-style-type: none"> 経営革新計画策定 5者 事業承継診断ヒアリング 20者 マル経融資 5者 中小企業者等賃上げ環境整備支援事業費補助金 2者 岩手県事業承継補助金 2者 小規模事業者持続化補助金 4者 地域産業育成助成金 3者 パートナーシップ構築宣言 7者 日本政策金融公庫事業承継マッチング登録 2者 	<ul style="list-style-type: none"> 経営革新計画策定 2者 マル経融資 1者 小規模事業者持続化補助金 1者 パートナーシップ構築宣言 2者 	（当初目標） 事業承継診断20件、各種補助金事業計画書6件、経営革新計画4件、金融事業計画書12件計42件
4. 事業計画策定支援に関すること	3回	5回	-	A	A	①-1事業計画策定個別相談会	3回実施、支援企業数9者 令和7年7月30日（水）、8月27日（水）、9月9日（火）、10月8日（水）、11月19日（水） 招聘専門家 1名	独自開催 1回 令和8年3月17日（火）オンライン開催、3者（事業承継相談2件、販路拡大1件）	<p><u>需要動向を見据えた事業展開、課題解決に向けた事業計画策定個別相談会を、専門家等と連携し開催。（R7.7～11月）</u></p> <p><u>事業計画策定個別指導会とDX推進個別相談会を、本年度の計画では5回開催。</u></p>
	20者	41者	4者	B	A	①-2事業計画策定事業者数	<ul style="list-style-type: none"> 経営革新計画策定 5者 事業承継診断ヒアリング 20者 マル経融資 5者 中小企業者等賃上げ環境整備支援事業費補助金 2者 岩手県事業承継補助金 2者 小規模事業者持続化補助金 4者 地域産業育成助成金 3者 	<ul style="list-style-type: none"> 経営革新計画策定 2者 マル経融資 1者 小規模事業者持続化補助金 1者 	
	1回	1回	-	A	A	②DX推進セミナーまたは個別相談会	-	DX推進個別相談会は、独自事業としてよろず支援拠点等と連携をして実施済み。	

事業区分	令和7年度目標値	実績報告	未実施	事務局評価	委員会評価	事業項目	事業内容（中間実績）	事業内容（今後の動き）	事業内容（当初計画）	
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	20者	56者	-	B	A	①-1事業計画フォローアップ対象事業者数	<ul style="list-style-type: none"> 経営革新計画策定 5者 事業承継診断ヒアリング 20者 マル経融資 5者 中小企業者等賃上げ環境整備支援事業費補助金 2者 岩手県事業承継補助金 2者 小規模事業者持続化補助金 4者 地域産業育成助成金 3者 パートナーシップ構築宣言 7者 日本政策金融公庫事業承継マッチング登録 2者 	<ul style="list-style-type: none"> 経営革新計画策定 2者 マル経融資 1者 小規模事業者持続化補助金 1者 パートナーシップ構築宣言 2者 <p>特にも、今年度はマル経融資の反応が薄い状況である点が懸念事項。</p> <p>併せて、経営改善計画の依頼やリスク相談が増加していることから、来年度は岩手県信用保証協会との連携を密に図りながら支援する。※協議中</p>	<p>策定した事業計画が円滑に実施できるよう定期的なフォローアップ支援を行う</p> <p>（目標）事業区分3の支援企業の他に、昨年度から継続支援の企業をフォローアップ支援とする。</p> <p>なお、物価高騰に伴う価格転嫁のため、営業利益率増加を達成するための支援を行う。</p>	
	110回	110回	-	A	A	①-2事業計画フォローアップ頻度（延べ回数）	50者、延べ110回のフォローアップ支援			
	6者	6者	-	A	A	②売上増加事業者数もしくは営業利益率1%以上増加事業者数	個人事業者の確定申告後、調査実施。	法人企業の決算終了後、調査を実施する。		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	11者	12者	-	A	A	①-1商談会・展示会等出展事業者数	<p>【小規模型商談会】 商談会：令和7年9月5日（金）開催 出展者：9者 招聘バイヤー：岩手県産(株)、二戸市ふるさと振興(株)、(株)のだむら、紅屋商事(株)、(株)八食センター 招聘アドバイザー 1名 経営発達推進委員 2名</p> <p>【ビジネスマッチ東北】 商談会：令和7年11月13日 ※準備のため、11月12日は前泊 出展者：3者</p> <p>事前支援：令和7年9月18日（木）、19日（金）10月1日（水）実施 事後支援：令和7年11月25日（火）、12月1日（水）、2日（木）に実施 招聘専門家 1名</p>	<p>六次産業化で取り組む農業関係者による販路開拓が増加傾向のため、この業種に向けた支援を次年度は開拓する。</p>	<p><u>小規模型商談会</u> 商談会：令和7年8月～9月、1回開催予定 見込み出展者：8者 予定バイヤー：岩手県産、なにゃーと、青森県バイヤー</p> <p><u>ビジネスマッチ東北への出展（事前支援、事後支援付き）</u> 商談会：令和7年11月13日 事前支援、事後支援：令和7年9月～12月予定 見込み出展者：3者</p>	
	1件/1者	12件/12者	-	A	A	①-2成約件数	<p>【小規模型商談会】 出展者：9者のうち、9者が成約。見込みは、9者/11件。流通経路の見直しは、1社/1件。</p> <p>【ビジネスマッチ東北】 出展者：3者のうち、3者が成約。見込みは、3者/3件。</p>	<p>商談成立を目指し見込み件数の支援を継続。</p> <p>また、包装デザインへの変更依頼や提案が多く、持続化補助金や県補助金を活用した支援を行う。</p> <p>成約率を高めるため商談会の設定場所を再検討したい。</p>		
	1者	2者	-	A	A	②-1地域密着型事業者の需要開拓支援事業者数	-	小規模型商談会に参加した企業を支援。（刈谷果樹園、荒沢農産）		地域密着型事業者に対する販売促進支援による地域内の需要開拓
	8万円/1者	8万円/1者	-	A	A	②-2新規売上	-	-		
	1者	2者	-	A	A	③-1 I T ツール導入支援事業者	連合会主催研修会受講者（カラーミーショップ） ふるさと納税支援継続者（BASE）	カラーミーショップ（荒沢農産） BASE（本田商店）		I T 活用による個別課題の解決に資する取り組みや販路開拓の支援を行う
1件	1者	1者	A	A	②-2 I T ツール導入件数	カラーミーショップ（BASEは来年度導入予定）		（目標）I T ツール活用セミナー、DXセミナーの開催（予定）		

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

事業区分	令和7年度 目標値	実績報告	未実施	事務局評価	委員会評価	事業項目	事業内容（実績）	事業内容（今後の動き）	事業内容（当初計画）
1. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること	年3回	3回	-	A	A	①軽米町商工会経営発達支援推進会議の開催	【第1回】 今年度の事業計画内容について 【第2回】 中間報告について 【第3回】 事業評価について	懸念事項は金融関連	6月 第1回会議開催（本年度事業計画） 12月～1月 第2回会議開催（中間報告） 3月 第3回会議開催（事業評価）
	年6回	6回	-	B	A	②事務局会議	毎週月曜日の朝礼において情報共有を図っている。また、奇数月に事務局会議で意見交換と情報共有を実施している。 なお、個別の支援課題においては、随時意見交換を行っている。	深度性を高める方法を再検討	
2. 経営指導員等の資質向上に関すること	-	1回/1人	1回/1人	A	A	①外部講習会等の積極的活用による職員の資質向上（OFF-JT）	岩手県商工会連合会等が開催する研修会専門コースに参加し、専門的知識の習得に励んでいる。		中小企業支援担当者向け研修に参加する
	-	12回	-	A	A	②実践による職員の資質向上（OJT）	対象職員に対し、広域経営指導員によるOJTを毎月1回実施し、支援スキルの向上を図っている		県連広域経営指導員によるOJT （目標）川上経営支援員が対象、商工会内フォローとして経営指導員が対応
	-	1回	-	A	A	③DX化推進に向けた展示会参加による先進技術情報の収集	-	ビジネスマッチ東北にて情報収集	業界団体が主催する展示会へ参加し、知識更新に努める
	-	12回	-	A	A	④支援ノウハウ等の共有	支援ノウハウの蓄積を目的に、全職員で支援内容を共有している	今後は近隣商工会と連携した取り組みを検討したい	職員間で常時、情報共有する